

共同の生／生の共同に向けて ——いかにして共に生きるか

2011年3月5日(土) 13:30～17:30

京都大学吉田南キャンパス 人間・環境学研究科棟 地下大会議室

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/access/> (京都市左京区吉田二本松町)



【基調講演】

「装置」としてのペルソナ —— 人格の脱構築と三人称の哲学
ロベルト・エスポジト (イタリア国立人文科学研究所副所長)

【ディスカッサント】

岡田温司 (京都大学大学院教授) フェデリコ・ルイゼッティ (ノース・キャロライナ大学准教授)

※参加無料、事前申込不要、通訳つき (議論はおもにイタリア語)

登壇者略歴

- Roberto Esposito 1950年生まれ。専攻、政治哲学。現在、イタリア国立人文科学研究所副所長。
邦訳された主著に『近代政治の脱構築』(講談社選書メチエ、2009年)、『三人称の哲学』(同、2011年)。
- 岡田 温司 1954年生まれ。専攻、西洋美術史・思想史。現在、京都大学大学院人間・環境学研究科教授。
主著に『モランディとその時代』(人文書院、2003年)、『芸術と生政治』(平凡社、2006年)、『フロイトのイタリア』(同、2008年)。
- Federico Luisetti 1968年生まれ。専攻、哲学・美学。現在、ノース・キャロライナ大学ロマンス語文学科准教授。
主著にUna vita. Che cosa significa pensare dopo Bergson e Deleuze? (Mimesis, forthcoming in 2011), Estetica dell'immanenza (Aracne, 2008)。